

## 平成28年度 スポーツトレーナー学ユニット研究活動状況

### A. 構成メンバー

増田研一、中尾哲也、内田靖之、山口由美子、寺岡祐助

### B. 活動報告

<増田研一>

シュライカー大阪のチームドクターとして帯同。Fリーグ2016/2017チャンピオン、第22回全日本フットサル選手権優勝を目指した。結果、Fリーグ、全日本選手権のシーズン2冠を達成した。

<中尾哲也>

サマーシーズンは大阪府高体連 陸上競技専門部、および一般財団法人 大阪陸上競技協会主管の大会サポートトレーナーとして帯同。ウィンターシーズンは兵庫県スキー連盟所属 神戸FSC (神鍋スキースクール) の指導者、およびトレーナーとして帯同。

- ・第69回大阪高校陸上地区予選会 (1・2地区) 帯同トレーナー、大阪 (2016.5.4-5)
- ・第69回大阪高校陸上競技対校選手権大会帯同トレーナー、大阪 (2016.5.27-29)
- ・第71回大阪高校総体予選会 (1・2地区) 帯同トレーナー、大阪 (2016.7.21-22)
- ・第71回大阪高校総体帯同トレーナー、大阪 (2016.8.14-16)
- ・大阪私立高校総体帯同トレーナー、大阪 (2016.9.3-4)
- ・全日本実業団陸上大会帯同トレーナー、大阪 (2016.9.23-25)
- ・大阪高校秋季大会 (1・2地区) 帯同トレーナー、大阪 (2016.10.8-9)
- ・第6回大阪マラソンオフィシャルトレーナー、大阪 (2016.10.30)
- ・大阪高校秋季大会 (3・4地区) 帯同トレーナー、大阪 (2016.11.5-6)
- ・大阪高体連 強化育成練習会帯同トレーナー、大阪 (2016.12.23-25)
- ・第2回雪上安全講習会講師 (2017.3.6-8)、兵庫

<内田靖之>

関西学院大学体育会サッカー部のチームトレーナーと

して帯同。関西学生サッカーリーグ、天皇杯全日本サッカー選手権、全日本大学サッカー選手権のチャンピオンを目指した。結果、関西学生サッカーリーグは準優勝、全日本大学サッカー選手権大会はベスト8であった。

- ・第94回関西学生サッカーリーグ (前期・後期)、関西学院大学体育会サッカー部アスレティックトレーナー (2016.4-11)
- ・第96回天皇杯全日本サッカー選手権1回戦 (関西学院大学vsMIOびわこ滋賀、3-1)、関西学院大学体育会サッカー部アスレティックトレーナー (2016.8)
- ・第96回天皇杯全日本サッカー選手権2回戦 (関西学院大学vsアルビレックス新潟、3-5)、関西学院大学体育会サッカー部アスレティックトレーナー (2016.9)
- ・第65回全日本大学サッカー選手権大会 (2回戦、準々決勝)、関西学院大学体育会サッカー部アスレティックトレーナー (2016.12)

<山口由美子>

日本サッカー協会 女子サッカーU-17のチームトレーナーとして帯同。ワールドカップチャンピオンを目指した。結果、FIFA U-17 WOMEN'S WORLD CUP JORDANでは準優勝であった。

- ・公益財団法人日本サッカー協会 FIFA U-17 WOMEN'S WORLD CUP JORDAN 2016 サッカー U17 日本女子代表チーム帯同、ヨルダン (2016.10.1-22)
- ・公益財団法人日本サッカー協会 サッカー U-17 日本女子代表候補トレーニングキャンプ帯同、静岡 (2016.8.22-25)
- ・公益財団法人日本サッカー協会 サッカー U-17 日本女子代表中国遠征帯同、中国 (2016.7.10-17)
- ・公益財団法人日本サッカー協会 JFA エリートプログラム 女子U-14 トレーニングキャンプ帯同、熊本 (2017.3.28-29)
- ・公益財団法人日本サッカー協会 サッカー U-15 日本女子選抜トレーニングキャンプ帯同、大阪 (2016.12.2-3)
- ・公益財団法人日本体育協会公認アスレティックトレーナー認定実技試験検定員、大阪 (2017.2.11)
- ・第62回全日本インドアソフトテニス選手権大会役員、大阪 (2017.1.29)

・ISU ワールドカップスピードスケート競技会役員、長野 (2016.11.19) 2016.11.29)

<寺岡祐助>

男子Vリーグ サントリーサンバーズにトレーナーとして帯同。2016/17 V・プレミアリーグチャンピオンを目指した。結果、V・プレミアリーグは4位であった。

## C. 研究業績

### 1. 著書・監修

山口由美子：FIFA U-17 WOMEN' S WORLD CUP JORDAN 2016を通して、公益財団法人日本サッカー協会医学委員会年報、2016年1月～2016年12月版、2017

### 2. 原著・その他の論文

中尾哲也, 増田研一, 金井成行, 辻田純三, 山下陽一郎, 平川和文, 岡田修一: テイクバックでの下部体幹筋群収縮様式がバッキング時のヘッドスピードに及ぼす影響, トレーニング科学会27 (4), 101-109, 2016.

Nakao T, Masuda K, Kanai S, Tsujita J, Hirakawa K, Okada S.: Lower trunk muscle activity-induced alignment and COP position during single-leg standing, J Phys Ther Sci, 2017 (印刷中)

### 3. 学会発表

山口由美子：第89回日本整形外科学会学術総会「女性スタッフにおけるメディカルサポート 女子サッカーにおけるアスレティックトレーナーの活動」(2016.5.13)

## D. その他

中尾哲也：大阪府鍼灸師会主催 学術講習会講師 テーマ：スポーツ現場における測定と評価 (2016.7.10)

山口由美子：熊取町教育委員会生涯学習推進課主催ゆうゆう大学ゆうゆう楽部 講師 テーマ：動いて変えよう！頭と身体！ (2017.2.28)

寺岡祐助：和歌山県警主催講演会講師 テーマ：スポーツジムで心も体もリフレッシュ (2016.11.15、